

「若者文化の発信によるまちづくりに向けた基本方針(案)」に関する 意見募集の実施結果について

1 概要

本市では、将来予測される人口構成などを念頭に置き、若い世代をはじめ、あらゆる世代が活躍する持続可能なまちづくりを進めていく観点から、「若い世代が集い賑わうまち」を目指し、川崎らしい地域資源である若者文化の発信により本市の魅力を高める取組を進めていきたいと考えています。このたび、今後の若者文化の発信によるまちづくりに向けた基本方針(案)を取りまとめ、市民の皆様からの御意見を募集しました。

その結果、51通73件の御意見をいただきましたので、御意見の内容とそれに対する市の考え方、及び御意見を踏まえて作成した『若者文化の発信によるまちづくりに向けた基本方針』を併せて公表します。

2 意見募集の概要

- ・意見の募集期間 平成30年8月28日(火)から平成30年9月26日(水)まで
- ・意見の提出方法 FAX、郵送、持参、インターネット(フォームメール)
- ・募集の周知方法 市政だより、市ホームページ、かわさき情報プラザ
各区役所市政資料コーナー、支所・出張所、市民館・図書館
市民文化局オリンピック・パラリンピック推進室

3 結果の概要

意見提出数(意見件数)		51通(73件)
内訳	インターネット・電子メール	51通(73件)
	FAX	0通(0件)
	郵送	0通(0件)
	持参	0通(0件)

4 パブリックコメント意見の内容と対応

「若者文化の発信によるまちづくりに向けた基本方針(案)」の内容に対する御意見として、基本方針(案)全般については、本方針(案)の趣旨に賛同し、より積極的な取組を期待することなど、まちづくりに向けた支援(ソフト面)については市内における大小のイベント開催に関する事など、まちづくりに向けた支援(ハード面)については具体的な施設や設備の整備などに関する事などについての要望や提案などが寄せられました。

「若者文化の発信によるまちづくりに向けた基本方針(案)」の内容について、今後のまちづくりの方向性や具体的な施設整備に向けて参考としていく意見等があり、これらを踏まえて、「若者文化の発信によるまちづくりに向けた基本方針」を策定します。

【意見に対する対応区分】

- A：御意見を踏まえ、当初案に反映したもの
- B：御意見の趣旨が案に沿ったものであり、御意見の趣旨を踏まえ、取組を推進するもの
- C：今後の取組を進めていく上で参考とするもの
- D：案に対する質問・要望の御意見であり、案の内容を説明・確認するもの
- E：その他

【意見の件数と対応区分】

項 目	A	B	C	D	E	計
(1) 基本方針(案)全般に関すること		11	1	2		14
(2) まちづくりに向けた支援(ソフト面)に関すること		6	8			14
(3) まちづくりに向けた支援(ハード面)に関すること				44	1	45
合 計		17	9	46	1	73

(1) 基本方針(案)全般に関すること(14件)

No	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	<p>高校の時にダンスやダブルダッチの同好会を作ろうとした時に、学校の理解があまりなく景観を損ねるなどの理由で日によって練習場所を貸してもらえなかったり、主に学校外から来賓がある日などは活動させてもらえなかった。</p> <p>ダンスもダブルダッチもちゃんとした文化なのになぜ恥じなさいいけないのか、そういった大人の認識を変えていきたい。</p>	<p>本市から若者文化を発信していくことにより、これまであまりなじみや関心のなかった方々への若者文化に対する理解を深めてまいりたいと考えています。</p>	B
2	<p>本方針に基づく取組により、若者や子どもたちがストレスを発散でき、思いっきり自己表現できる場を提供することができれば、居場所もでき、いじめなどの陰湿なストレスの発散をしたり、非行に走る若者や子どもも少なくなるのではないかと考えられる。</p> <p>ストリートカルチャーの若くてエネルギッシュなパフォーマンスが、この川崎の街中で繰り広げられる光景はとてワクワクする。オリンピック・パラリンピックの多様性ともマッチングしていると思われる。</p> <p>川崎市内のタレント性のある人的資源のけん引力をおおいに活用して川崎の街の躍動感あるイメージを全国に、世界にアピールしていただきたい。ただ、突出したタレント、イベントだけが注目されるのではなく、多くの若者、子どもたちがそのスピリットに触れられる環境を、住んでいる地域やまちに創出していくことも必要と思う。</p> <p>(同趣旨の意見 計2件)</p>	<p>本方針(案)は、「若い世代が集い賑わうまち」をめざし、ソフト・ハードの両面から支援を行うことで、川崎の若者文化の発信によるまちづくりを進めていくものですが、これらの取組を通じて、子ども若者の健やかな成長や多様性への理解向上といった効果も期待できるものと考えております。</p> <p>また、地域人材の積極的な活用により本市から若者文化を発信してまいります。同時に、市内の子ども・若者にとっても憧れの存在ですので、交流できるような機会の創出について検討してまいります。</p>	B
3	<p>IOC なども積極的に若者の興味にアンテナを張っており、体操関係者も時代の変化に対応していかなければいけないし、そういったことが可能になる基本方針だと思う。</p> <p>私たち体操もパルクールを体操協会に取り入れるなど積極的に変化に対応しようとしている。個人的には、パルクールに加えチアリーディングも、世界110か国以上400万人の競技人口がいてと言われており、マットがあればできるので比較的普及しやすいのではと思っている。なお、チアは2016年にIOCから暫定承認を受けており、パルクールは今年のユース五輪のデモンストレーション種目となっている。</p> <p>本方針は公園などに施設を整備することが主な対策のように感じたが、やはり継続性や競技力の向上、安全性などを考えるとそれらを運営していく体制が不可欠だと感じる。</p>	<p>本方針(案)は、若者文化の発信による「若い世代が集い賑わうまち」をめざす取組を進めるにあたっての基本的な考え方を定めたものですが、そのためにはハード・ソフトの両面からの支援が欠かせないものと考えております。</p> <p>特に、魅力ある施設であり続けるためには、利用者の参加も含めたしっかりとした運営体制の構築が重要ですので、今後の基本計画策定のなかで、検討してまいります。</p>	B

No	意見の要旨	本市の考え方	区分
4	<p>ストリートカルチャーに行政が力を入れて頂くことは、日本でも世界でもあまり例のないことで、これが行われれば、1つのモデル都市になるのではないかと思います。</p> <p>今までは悪いイメージがあり、表に出なかったかもしれないが、もしも行政がこの分野に力を入れていると発信できれば、川崎に移住する若者も必ず出てくるし、施設に人が集まり大会が頻繁に行われていけば経済も活性化していくと思っている。</p> <p>また、年配の方がたくさん増えてきている中で、演技を通してそういった方達とのふれあいも期待できる。</p> <p>(同趣旨の意見 計5件)</p>	<p>これまで培われてきた川崎ならではのストリート文化・若者文化の経緯や歴史を尊重しつつ、本市が世界に誇る地域資源として、ソフト・ハードの両面から支援するとともに、これらの取組を積極的に発信することで、多くの若い世代が集える魅力あふれるまちづくりを進めてまいります。</p>	B
5	<p>現在日本のブレイクダンスのレベルが世界トップレベルで、近年のbboy、bgirl達は高難度の技が出来れば注目されているのが私の印象である。あくまでもスポーツではなくカルチャーであり、高難度の技よりも一つ一つのふりに意味や想いがあるのがブレイクダンスだと思っている。あくまでも文化という事を忘れてはいけないと思う。</p>	<p>スケートボードやBMXフリースタイルなどが2020大会から、ブレイキングが2018ユース五輪から採用されており、スポーツとしての一面もありますが、本方針(案)においては、あくまでも「文化」としての取組を進めてまいります。</p>	B
6	<p>資料の中で、全国、神奈川県などにおけるスケートボード等の実際の競技者数などを数値で示すことで、より説得力も増すのではないかと考える。</p>	<p>スケートボード等は、基本的には他のスポーツのようにクラブやチームに所属し連盟や協会に登録する仕組みとはなっていないため、明確な競技者数を把握することは難しい状況ですが、今後策定予定の基本計画なかで、競技人口や愛好者数について可能な限り調査してまいります。</p>	C
7	<p>実際の競技者に対するヒヤリングも行って頂ければと考える。</p>	<p>具体的な施設整備等に当たっては、市民や愛好者などによるワークショップなどを開催してまいりたいと考えております。</p>	B
8	<p>若者文化の発信が根付くある程度の時間迄は自治体、地区の全面協力が必要である。</p> <p>(同趣旨の意見 計2件)</p>	<p>本方針(案)では、若者文化に携わる市民一人ひとりが主役となって本市の若者文化を盛り上げていくことを基本としております。</p> <p>関係者との適切な役割分担のもと、本市としても若者文化発信によるまちづくりに積極的に取り組んでまいります。</p>	D

(2) まちづくりに向けた支援(ソフト面)に関すること(14件)

No	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	ストリートパフォーマンスの合同でのイベントをたくさん開催してほしい。 (同趣旨の意見 計 5 件)	本方針(案)に基づく、「若い世代が集い賑わうまち」に向けては、世界レベルの大会から、誰もが気軽に楽しく参加できる大会まで、様々なイベントが盛んに行われている状態が望ましいと考えております。 そうした状態を創出するため、市内で一つでも多くのイベントが開催されるよう、地域人材と協力しながら、誘致や各種調整等を行ってまいります。	B
2	ブレイキンの聖地である武蔵溝ノ口などで 1～2 回程度／月ダンス大会を開催する。	本方針(案)に基づく、「若い世代が集い賑わうまち」に向けては、世界レベルの大会から、誰もが気軽に楽しく参加できる大会まで、様々なイベントが盛んに行われている状態が望ましいと考えております。 イベントの実施主体については、基本的には民間を想定しておりますので、現段階では取組の参考とさせていただきます。	C
3	文化として根づくための大きなインパクトとしては大きなイベントは不可欠ではないか。 今年の 4 月に広島で行われた FISE のようなイベントを定期的に実施できると若者のまち、かわさきのイメージやムーブメントが定着するのではないかと思う。 (同趣旨の意見 計 3 件)		
4	スクールなどの指導環境が必要である。	スクールについては、本方針(案)に位置付けた「施設利用者等によるコミュニティ形成に向けたしくみづくり」と施設整備後の管理運営のあり方とも関係があると考えておりますので、今後の検討における参考とさせていただきます。	C
5	hiphop の文化の創成期と違い、今は親も子も、習い事の一つとしてブレイキンを考えている方が多いと思う。 それは多分仕方ないことだと思うが、やはり、hiphop とは、といった知識を学ぶことも大切ではないかと思うので、そういう知識を学べる環境も作っていただきたい。 bboy、bgirl たちが、勝ち負けだけにこだわるのではなく、背景を知って、文化を知って楽しみながらやっていたい環境もほしいとおもう。 (同趣旨の意見 計 2 件)	ストリートカルチャーやエクストリームスポーツの理解を深めるためにも、歴史や背景を知る取組は重要であると考えています。 今後、地域人材に御協力いただきながら、若者文化を知識として知ってもらい理解につなげていく取組の参考としてまいります。	C

No	意見の要旨	本市の考え方	区分
6	<p>ストリートカルチャーやエクストリームスポーツで、世界的に活躍する川崎市の人材を、もっと市内外の多くの人に知ってもらって認知度が高まるように、かわさきスポーツパートナーである川崎フロンターレや川崎ブレイブサンダースのハーフタイムイベントでパフォーマンスを披露するといったことが出来るよう、関係者の調整や働きかけをお願いする。</p>	<p>より多くの方々に、本市の若者文化を知っていただくことは重要であると考えておりますので、多様な主体との連携について、今後の取組の参考としてまいります。</p>	C
7	<p>若者文化の発信するまちづくりを地域住民特に若者より上の世代や下の世代に理解、認知、共生できる仕掛けをする。</p>	<p>本方針(案)にもありますように、若者文化の発信によるまちづくりの副次的な効果として、多様性への理解向上や、多世代の健康づくりなどもあると考えておりますので、若者文化への理解が幅広く得られるよう、地域のなかで実際に知る機会の創出などについても、今後関係者と協議してまいります。</p>	B

(3) まちづくりに向けた支援(ハード面)に関すること(45件)

No	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	<p>施設整備に関する意見・要望</p> <p>1 スケートパークについての意見</p> <p>(1) 総合的な意見</p> <p>スケートボードには、以下のような特徴があり、素晴らしい文化、スポーツだと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年代関係なく、同じものを楽しんでいる人と繋がれる ・沢山ある技を頑張って練習すれば必ずできるようになるので、達成感がとてもあり、頑張ればできると思わせる。 ・技ができた時にみんなで喜んでくれるのでその気持ちが嬉しいのと、他の人の技を見ていて幸せになれる。 ・学校以外の友達が増え、学校の友達が全てではないと思える。 <p>いいパークだと、評判になり、いろいろな所から若者が集まり、その情報をきいた海外のライダーが遊びにきたりするのも楽しみだし、大会が行われたりと発展していくとも思うので、スケートパークが必要だと思う。</p> <p>(2) 具体的な設備等に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大師河原よりも大規模なものが必要 ・町にあるベンチや階段、手すりやオブジェなどをイメージした物。滑りやすい縁石 ・ランプ、キドニープールを備えたコンクリートパーク ・八潮北公園スケートパークや駒沢公園スケートパークの素材がよい。 <p>2 ブレイキン・ダブルダッチの施設に関する意見</p> <p>(1) 総合的な意見</p> <p>子どもがブレイクダンスをやっているが、現状は場所難民である。周囲の友達に聞いてもやはり練習場所に困っているのが現状である。</p> <p>葛飾区でも、若者の活性化を促す為に土手沿いに色々なものを作り、その一つにダンス練習できる場所を作っていることを考えているとの話も聞いている。</p> <p>誰でも気軽にいつでも利用できるそんな場所をぜひ作ってほしい。</p> <p>ダブルダッチをするにあたって、普通のダンススタジオだと天井の高さを気にしなければいけないことや、公園などでは人が多くて場所を確保することができず、音もきこえないことなどから、気兼ねなく練習できる環境が欲しい。</p>	<p>施設の整備にあたっては、民間活力の導入も視野に入れるとともに、整備場所、コンテンツ、セクションなどについては、頂いたご意見を参考に、今後、具体的に施設を検討する段階において、より多くの方の意見を反映できるよう、市民や愛好者などによるワークショップなどを開催してまいりたいと考えております。</p>	D

No	意見の要旨	本市の考え方	区分
	<p>(2) 具体的な設備等に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 踊りやすい、パフォーマンスしやすい素材でできた床・ステージ ・ ダンスやパフォーマンスしている姿が映る鏡 ・ 天井も高くても音を流しても問題がない施設が欲しい。 <p>3 その他施設全般に関する意見</p> <p>(1) 具体的な設備に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風雨などの天候に左右されないようにするため施設は屋内(屋根付き)の方がよい ・ 仕事や学校のことを考えると夜も利用できた方がよい ・ 多様なコンテンツが一堂に会していた方が、お互いに刺激し合い、様々なコミュニケーションが取れ交流が図られるのでよい。 ・ 軽食が取れたりカフェで休憩できたりする施設があったらよい。 ・ 動画などを配信したりするため、フリー-WIFI があった方がよい。 ・ シャワー、更衣室、ロッカーなどがあるとよい。 ・ 屋内の場合は空調設備も必要 ・ 分煙対策 ・ 関連ショップの併設 ・ 音響設備全般、DJブース ・ 音を出しても周囲に迷惑の掛からない施設 ・ 料金は無料がよい。 ・ 競技として考えた場合、筋トレやアフターケアができる施設があった方がよい ・ グラフィティなど他のヒップホップも発信できる施設 <p>(2) 場所に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川崎駅周辺(富士見公園) ・ 幸区小倉陸橋 ・ 鶴見川河川敷 ・ 武蔵小杉周辺(中原平和公園、等々力緑地) ・ 駅から近いところ ・ わざわざ予算をかけるのではなく、高架下など既存の施設を開放するだけでよい。 <p>(同趣旨の意見 計 44 件)</p>		

No	意見の要旨	本市の考え方	区分
2	<p>若者が集う街づくりということで、フリースタイルフットボールの練習ができる施設があるといいと思う。</p> <p>フリースタイルフットボールはまだ15年ほどの歴史しかない、マイナースポーツだが、年々競技人口が増えており、世界でも盛り上がってきている。</p> <p>愛好者は公園や体育館で練習をするが、ボールを蹴ってはいけない体育館が多かったり、雨の日や風の強い日は屋根付きの場所を探すか地下道路を使ったりしている。</p> <p>練習できる素敵な場所があれば絶対に多くのフリースタイラーが集まると思う。</p> <p>JAM といってフリースタイラーが集まって一緒に蹴るイベントも開催できたら、川崎付近に住んでいない人たちにも場所を認知してもらえと思う。</p>	<p>本方針(案)における若者文化の定義は「本市で盛んであるストリートカルチャーやエクストリームスポーツ」としております。</p> <p>フリースタイルフットボールについては、まずは本市における現状を調査したうえで、今後の方向性を検討してまいりたいと考えております。</p>	E